

能代市総合計画市民協働会議 提案前文検討資料

市と市民の協働により策定した能代市総合計画が平成20年度からスタートし1年が経過しました。

能代市総合計画市民協働会議では、計画の実行段階においても、市と市民の協働でより良いまちづくりをめざすため、総合計画に掲げた目標指標を用いて、これまでのまちづくりの進み具合を市民の目で点検し、今後のまちづくりの取組を検討するという作業を行いました。

まちづくりの活動実態の点検においては、行政だけでなく、市民や各種団体、事業者など、様々な主体がそれぞれに役割を担っていることが明らかになりました。

また、まちづくりの評価においては、多くの政策分野がめざす姿に向けて、順調または現状維持で推移している一方、厳しい社会経済情勢を反映して、主に雇用創出や産業振興に関する政策分野においては、思うように進んでいないという現状も明らかになりました。

こうした状況を踏まえて、より良いまちづくりのために、重点的に取り組むべきもの、手法等を見直して取り組むべきものなどの検討を行いました。

これらの検討過程の中で、今後の取組の重要な視点として以下の意見が上げられました。

1.

2.

3.

以上を踏まえて、能代市総合計画に掲げた将来像の実現に向けて、まちづくり評価書及び提案書を次のように取りまとめましたので、提案いたします。

平成21年11月25日

能代市長 齊 藤 滋 宣 様

能代市総合計画市民協働会議

委員長 柴 田 寛 彦